

添付 8 号様式

添削指導及び面接指導の指導方法書

1 添削指導

(1) 添削指導の進め方

教材引き渡し後、自宅学習を開始し、課題レポートを決められた受講日に持参・提出する。
やむを得ない場合は、事務所宛てに決められた機嫌までに郵送するか、次回受講日に必ず提出する。

<評価方法>

採点により、合格＝6割以上59点以下の場合は合格に達するまで再提出する。

<その他>

学習開始後、わからないところが発生した場合は、受講時に直接質問するか、質問票に記入し、次回受講時に回答を返却する。

(2) 課題（レポート） （別紙として添付）

2 面接指導

面接指導の講義・演習

科目（項目）名	内 容	研修時間
職務の理解	・ 多様なサービスの理解 ・ 介護職の仕事内容や働く現場の理解	6 時間
介護における尊厳の保持・自立	・ 人権と尊厳を支える介護	1. 5 時間
介護の基本	・ 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ・ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	3 時間
介護福祉サービスの理解と医療との連携	・ 医療との連携とリハビリテーション	3 時間
介護におけるコミュニケーション技術	・ 介護におけるコミュニケーション	3 時間
老化の理解	・ 高齢者と健康	3 時間
認知症の理解	・ 認知症を取り巻く状況 ・ 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	3 時間
障害の理解	・ 障害の基礎的理解 ・ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	2 時間

<p>こころとからだのしくみと生活支援技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の基本的な考え方 ・ 快適な居住環境整備と介護 ・ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ・ 死に行く人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 ・ 介護課程の基礎的理解 ・ 総合生活支援技術演習 	<p>53時間</p>
<p>振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 	<p>4時間</p>

注 「添削指導の進め方」には、例えば、指導の回数、回答の提出期限、評価方法、認定基準、認定基準に満たない受講者に対する対応、質問に対する回答方法等を記載すること。